



長い年月が作り出した奇岩や断崖が連なる秘境岩部海岸は奇跡の海岸と称される。

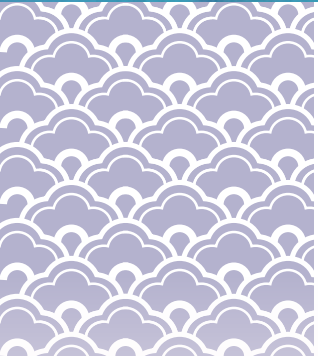


福島町観光協会  
ホームページ

# 福島町



南国を思わせるほど透き通った海はオプションの空撮撮影をすると船が浮いて見えることもある。



## 『青の洞窟』 神秘的な景観のまち

昭和の大横綱を生んだまちとして知られる福島町に、「岩部クルーズ」という新たな名物が加わった。海底を覗けるグラスボートで、美しい風景を楽しみながら「青の洞窟」に向かう。南国のリゾート地に引けをとらない真っ青な海は、まるでボートが空中に浮かんで見えるほど透明度が高い。海岸沿いは手つかずの自然が広がっているが、昔は地元民おなじみの場所でもあった。「クルーズの前半



青の洞窟内

で見える「タタミ岩」には、漁船を出してもらって海水浴に来ていました」と、平野さん。クルーズの目玉は、船でしか近づくことのできない断崖にぽっかりと空いた「青の洞窟」。水面が青く輝く神秘的な空間に、「本場イタリアの『青の洞窟』よりも感動した」という観光客もいたほど。断崖や奇岩に洞窟、数々の動物との出会いなど、約75分の船旅は感動の連続だ。平野さんは「見所は沢山ありますが、言葉にするのは難しいですね。是非見て、体感してください」と話す。

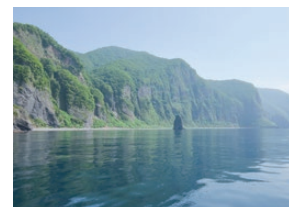


一般社団法人福島町まちづくり工房 代表理事 平野 松寿 さん

「岩部クルーズ」のガイドとして日々クルーズ船に乗り込み、細やかな解説や心配りで観光客を楽しませる。クルーズ中にドローンを飛ばして記念撮影をするなど、唯一無二のサービスを編み出すアイデアマンだ。福島町出身で、高校卒業後は町外に。東京で長くアパレル企業に勤めたが、東日本大震災がターニングポイントになった。男性高級衣料品の市場が急激に縮小、ファストファッションの波が押し寄せた。「大好きな地元に戻ろう」と決意、実家の民宿を手伝い始

めた。ちょうど町で「クルーズ船構想」が持ち上がった頃だったが、「自分が運営側に回るとは思っていなかった」。その後、紆余曲折と試行錯誤を重ねながら、クルーズは今や「道南で最も予約のとれないアクティビティ」ともいわれるほど人気に。「今後は、クルーズはもちろんですが、他のアウトドア体験メニューを開発して、岩部地区を少しでも盛り上げていきたい」。平野さんの挑戦は続く。

### 岩部クルーズ受付所



福島町岩部65番地1  
☎0139-46-7822

